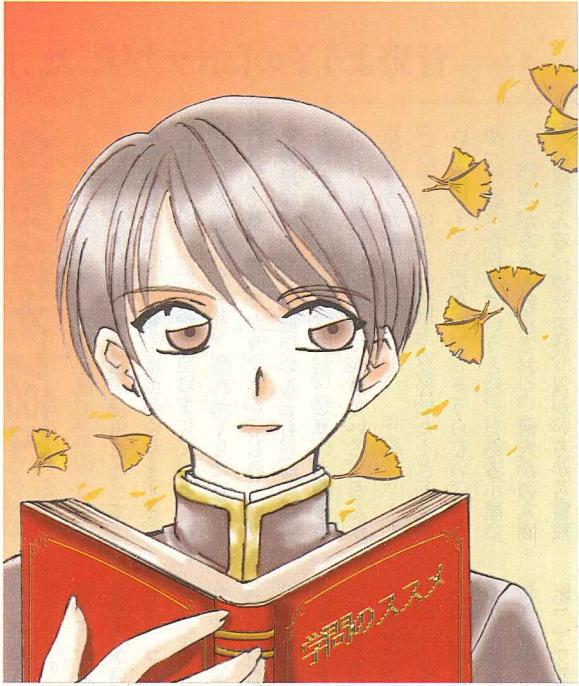


井上逸平のしましまにしまつしま!

いのうえいつべい(社会言語学者)

ことばも結構オーディオ・ビジュアル! —ことばの秘密はアニメの秘密?

新連載



illustrated by MIYATA NAOMI

今回からこのコラムを書くことになった。正直言つて戸惑いはある。僕はことばを相手に仕事をしているから、アニメ情報誌の読者諸兄のようにビジュアル志向の人たちと話がかみあうのか心配だ。文字だけの本は学校や仕事以外ではあまり読まないという人や、ことばだけじゃつまらない、絵や音がなければおもしろくないという人もいるだろう。さて今回はことばだけって実は結構オーディオ・ビジュアルなのだ! というお話。このコラムのシリーズのタイトルを見たかな? 何コレ? という人がほとんどにちがいない。でもコレ、ある地域の人にはすぐ意味がわかる。実は石川県の金沢市あたりの方言なのである。

シマ模様のシャツと水玉模様のシャツのどちらを選ぼうか迷つてゐる人がいるとしよう。そこに「シマにしなさいよ」と金沢弁で言うと「シマシマにしまつしま」となる。もちろんこれはことば遊びである。金沢人にとっては本当は何でもないことなのだが、この音の響きをおもしろがつてゐるので。ことばは情報を伝えるコミュニケーションの手段だと思われやすいが、実は僕たち人間はことばをオーディオ的にも楽しんでゐるのである。

日本語はオーディオ的なだけではない。ビジュアル的でもある。日本語では同じことばなのに「可愛い」、「かわいい」、「カワイイ」と3種類も書き方がある。そしてそれぞれにことばの雰囲気がちよつとずつ違う。こんなビジュアルな効果を生み出せる言語は日本語以外にそう多くはない。それに同じ音で漢字が違うことばもたくさんある。「こうこう」という漢字のことばは山ほどある(いくつ書ける?)。どう書くか(ビジュアル化するか)は日本語にとって重要である。

僕たち日本人はオーディオ的にもビジュアル的にもコミュニケーションしているのだ。アニメ・マンガ王国ニッポンの秘密は実は日本語にあるの

が大きな役割を果たしている。セリフもそうだが、「ズルッ」「スタッ」などの擬声音、擬音もユカイである(こういう音を表すことばを『オノマトペ』というが、このことば自体ユカイでしょ?)。「はきはき」、「ざらざら」など以前からあるものもあるが、「うるうる」「ルルン」などアニメやマンガが生み出したと思われるものもたくさんある。日本語はこういうオーディオ的なことばがとても豊かだ(アメリカの諸言語もそぞららしい)。

英語の擬態音、擬声音はあまり目立たないようになっている。ふつうことばに組み込まれてしまっているのだ。flag(旗)、fly(飛ぶ)のflーは「ひらひら」のイメージの擬態語のようなものだし、glass(ガラス)、glory(栄光)、gitter(きらりと光る)のglーは「きらきら」のイメージである(もつとたくさんあるから英語の辞書をひいてみよう)。これらは特に擬態語、擬声語だとは思われないかも。

アニメに音はつきものだが、マンガでも音が大きな役割を果たしている。セリフもそうだが、「ズルッ」「スタッ」などの擬声音、擬態音もユカイである(こういう音を表すことばを『オノマトペ』というが、このことば自体ユカイでしょ?)。「はきはき」、「ざらざら」など以前からあるものもあるが、「うるうる」「ルルン」などアニメやマンガが生み出したと思われるものもたくさんある。日本語はこういうオーディオ的なことばがとても豊かだ(アメリカの諸言語もそぞららしい)。

英語の擬態音、擬声音はあまり目立たないようになっている。ふつうことばに組み込まれてしまっているのだ。flag(旗)、fly(飛ぶ)のflーは「ひらひら」のイメージの擬態語のようなものだし、glass(ガラス)、glory(栄光)、gitter(きらりと光る)のglーは「きらきら」のイメージである(もつとたくさんあるから英語の辞書をひいてみよう)。これらは特に擬態語、擬声語だとは思われないかも。

日本語はオーディオ的なだけではない。ビジュアル的でもある。日本語では同じことばなのに「可愛い」、「かわいい」、「カワイイ」と3種類も書き方がある。そしてそれぞれにことばの雰囲気がちよつとずつ違う。こんなビジュアルな効果を生み出せる言語は日本語以外にそう多くはない。それに同じ音で漢字が違うことばもたくさんある。「こうこう」という漢字のことばは山ほどある(いくつ書ける?)。どう書くか(ビジュアル化するか)は日本語にとって重要である。

僕たち日本人はオーディオ的にもビジュアル的にもコミュニケーションしているのだ。アニメ・マンガ王国ニッポンの秘密は実は日本語にあるの